

人工衛星SPOTがとらえた「北海道別海町周辺」(2)

データ収集：東京スポットイマージュ株式会社

データ処理：東京理科大学・国土情報工学研究会

フォールスカラー画像とエンボス画像を合成した「カラーエンボス画像」を作成してみました。エンボス画像上では、土地被覆の境界部（輪郭）や道路、鉄道のような線状情報が浮き出るように見えます。これは目の錯覚、いわゆる「錯視」を誘発する画像処理の一つです。右上の画像は、北東から南東に向けて光が疑似的に照射されたように見えるエンボス画像です。カラーエンボス画像を判読する際に誘発される目の錯覚によって、特に赤色域の箇所が立体的に見えることが判ります。ますます高分解能化、多バンド化する衛星画像の判読支援策を考えることは重要な研究課題の一つとなっています。

